

教育目標 ◎自分で深く考える子 ◎思いやりをもって助け合う子 ◎がんばってやりとげる子



～一人一人が輝き、幸せな学校～

佐々木川

令和7年10月30日
新発田市立佐々木小学校
学校だより 第14号



成長する瞬間

目の前の大勢の人の前でも いきいきと歌い、踊り、演奏し、発表する子どもたち。

でもステージに上る前は、不安で心配そうな表情でいっぱい。張り詰めた顔から、さあスタート！不思議、一人また一人、みるみるみんなとても楽しそうな笑顔に変わります。この瞬間が、子どもたちがひとつ成長した姿です。

多くの方から見てもらえる喜び、声援をいただく喜び、喜びあふれる体験が子どもたちの成長に欠かせません。学習発表会での温かいご声援、ありがとうございました！

夢や目標をもつこと

校長 金平 弘之郎

昼休み、私は、子どもたちから、よく一緒に遊んでもらっています。遊んでいると、やはり子どもです。遊びに夢中になり、掃除の時間が迫ってきても、遊びをなかなかやめようとしません。そんな子どもたちですが、学習発表会が近づいてきた頃、夢中に遊んでいたのに、突然、発表の練習のために「行かなきゃ！」「間に合わない！」と遊びをスパッと切り上げ、一目散で練習に向かう姿がありました。子どもたちに置いて行かれ、走り去る子どもたちの背中から、向かっていく目標があることは気持ちや行動を大きく変える力があるんだなとしみじみ感じさせられました。

そして、先日、役者を始めとしてマルチにクリエイティブな活動をしているカサハラ ケントさんから、5・6年生に講演をしていただきました。カサハラさんは、ずっと芸能人になりたいという夢をもっていたそうです。映画やテレビ、舞台の世界で活躍するって、ハードルが高そうであきらめてしまう人が多いのではないでしょうか。私なら現実的でないとあきらめてしまいます。でも、カサハラさんはずっとその夢をもち続けていたそうです。確かにテレビや映画で活躍している人、プロのスポーツで活躍している人など、私から見ればハードルが高い世界で活躍している人は実際にいます。つまり、その人たちは、その夢をずっと持ち続けていたからこそ、その世界で活躍できているのでしょう。カサハラさんの姿もそれと重なります。その姿から夢を追い続ける気持ちってやはり大切な感じました。

話は変わって、まもなく持久走記録会がやってきます。長い距離走ることは好きな子もいれば、嫌いな子もいるでしょう。持久走練習に向かう子どもたちとすれ違うと、気合いを入れてグラウンドに向かう子、何やら「あー、やだ。」「走りたくないなあ。」とつぶやきながら、重い足取りで向かう子もいます。でも、授業が終わって、戻ってきた子たちは、順位カードを握りしめて「〇番だったよ！」「前より早かったよ！」と嬉しそうな顔で教えてくれます。自分の目標を超えた、あるいは目標に近づいている嬉しさなのでしょう。

夢や目標をもつこと、それが子どもたちの意欲や姿を変えています。これからも様々な教育活動があります。その教育活動の中で、しっかりと子どもたちを夢や目標に向かって頑張るように支えていきたいと思います。